

さて電…  
これから君には  
私の大事な触手の育成に  
役立つてもらおうよ  
怖がることはない…  
むしろ君にとっても  
素晴らしい体験になると保障するよ

「あうう…嫌なのです…  
鎮守府に帰して  
欲しいので…」



「い、いやっ……！  
やめていっ……そんな……  
舐めないでえ……！」

そんなこと言いながら  
ちやんと反応してるじゃ  
しっかり大きくしておか  
気持ちよくなれないぞ？

ちろ  
ちろ

はあ  
はあ

はあ

はあ





「はうっっ...!!?  
な...中に入っちやだめえ...!!」

こいつは綺麗好きなんだ  
ちやんと綺麗にしているか？  
綺麗になるまで舐め回すから  
汚れていると長く続くことになるぞ？

びい

くひい

ひいっ

ほいっ  
ほいっ

くひい

くきゅ  
くきゅ

くくくくくく…と長く舐められていたな…  
だがおかげでかなり固くなったんじゃないか？  
先端から物欲しそうにでてるんじゃないか…  
よ

「はーっ…はーっ…  
いやあ…  
電のちん…  
見ないで欲しいの…」



「あつあつあつ……！  
だめなのですつ！  
いま……そんなことしたら……！」

なんんだ、さっきのでもう  
イキそうなのか？  
情けない、ちんぽだなあ……  
まあいい、早くコイツに養分を  
与えてやっつけてくれよ





「あああああっ！  
出ちやうっ！  
精子出ちやうのですっ！」

ガク  
ガク

びび

あああああ  
精子出ちやうのですっ！



なかなかの量が  
 出たじゃないか...  
 だが...まだまだ...  
 元気のようだな...  
 ...さて、もうっ  
 ...ここからお楽し  
 ...ちよいくか  
 ...みだぞ  
 ...お...

「はひ...?」  
 ま...まだ続く...?  
 もう...出ない...?  
 ...?

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

「ひいいいつ!!?」  
「お、お何が入ってるの!」  
「お、おおちんぽぽ...熱いのですっ!」  
「電のおおちんぽぽ...おかしくなりそう  
なのですうっ!」

より効率よく養分を得るための  
秘薬さ...  
さあて、電ちゃんの大事なところは  
どうなっちゃうのかな?







「ひあああっ!?!

な…!?!アソコが何か…!

ど…!?!うなってるのです…!?!

ひい!?!

おちいんぽい!?!壊れちゃったのです…!?!

ひい

アソコが何か

「…!?!

ふふふ…  
ご立派なモノに  
育ったじゃないか

「はあ…はあ…  
なんだか…はあ…  
するのです…ボーっと

さつきのりも…体が熱いのです…

お…おちんぽ…  
電のおおちんぽ…  
「♡」



ほれほれもつと  
触手がれもつと  
精子のくれだよ  
そのでかいたよ  
溜まっか養分を  
さっさとぶちまけて  
やっつけてくれよ

ガ  
ガ  
ガ

ビ  
ク  
ク

ハ  
ハ

くふうふう！  
あしゅしゅごい  
ああっ！おちめ  
しちやうのれし  
「ふうふう」



「ひぎいいい！  
出ちうっ！  
電のおちんぽみるく  
のたのさゆんちやう  
のれしくゆうううう」  
「♡♡♡」



びん

びん

びん



素晴らしい！  
これくらいいあれば  
しばらくは養分には  
困るまい

いやあ、  
優秀な栄養源が手に入っ  
たな。  
これからも君にはここで  
活躍してもらおうよ。  
期待しているよ電ちゃん！







はあ

はあ

ちろ

ちろ





ク

ク

ク

ク

ク  
ク

ク  
ク



はー！

はー！

セクッ  
セクッ





ガ  
ガ  
ガ  
ガ  
ガ

ガ  
ガ  
ガ  
ガ  
ガ

ガ  
ガ  
ガ  
ガ  
ガ









「んんん」  
「んんん」





ガッガッ

ビクッ

ガッガッ

ハッ

ハッ



お風呂の時間

びん



お風呂  
お風呂  
お風呂

お風呂



はーっ

はーっ